

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	井口児童スタークラブ		
○保護者評価実施期間	2025年12月15日		～ 2026年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37 (回答者数)	31
○従業者評価実施期間	2025年12月15日		～ 2026年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者個々の特性やこだわりを理解して、安心してすごせるように室内が構造化されている。別室やパーテーションを設けてクールダウンスペースを確保している。	全体でのスケジュールとは別に、その時の利用者の状態に寄り添って個別対応ができる体制を整えている。	
2	一日のスケジュールや室内でのルールを固定化することで、見通しを立てやすくしている。定着することで自らスケジュールや時間を意識して行動切り替えができるようになる。	スケジュールや室内ルールの掲示(視覚支援)。タイマーの使用。	全体での声かけ・掲示では見通しを立てることが難しい児童には、個別のスケジュールや写真カードを使用している。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	体をしっかり動かせるスペースがない	室内を仕切って構造化しているため。身体的配慮の必要な利用者もいるため。	散歩や近所の公園で体を動かして発散できるようにスケジュールに組み込む。
2	障害や支援について職員の専門的な学びの機会が少ない	研修会や勉強会に参加する機会がなく、職員個人の自助努力となっている。	研修会の案内等をより充実させる。職員ミーティングの内容の充実化。
3			